

議会だより

No. 49 2017.8.1 発行
6月定例会

ますます、いよし。



伊予市

第4期新生伊予市議会スタート！



正・副議長に聞く	2
委員会報告	4
一般質問（7人が市政を問う）	6
政務活動費を公開します	14
特別委員会報告	15
傍聴してみませんか	16

日野猛仁議員 森川建司議員 佐川秋夫議員 吉久俊介議員 大野鎮司議員
谷本勝俊議員 久保 榮議員 水田恒二議員 若松孝行議長 田中 弘議員 向井哲哉議員
高田浩司議員 川口和代議員
門田裕一副議長 平岡清樹議員 武智 実議員 田中裕昭議員 正岡千博議員 北橋豊作議員

平成29年6月5日 定例会初日（新議場にて撮影）

新しい議会構成が決まりました

正・副議長に聞く!

市民が主役のまちづくりを

5月1日の臨時会で、第4期伊予市議会の正・副議長をはじめ、各常任委員会等も新しい顔ぶれとなりました。そこで、就任された若松議長と門田副議長に、これからの抱負や議会運営などについてお聞きしました。

議長 若松孝行



■プロフィール
現住所：伊予市双海町串
特 技：剣道5段
趣 味：釣り
座右の銘：誠実

○抱負は？

若松議長

合併後、二度目の議長を拝命し、重責を感じており、身の引き締まる思いです。これまでより、さらに市民目線に立った開かれた議会運営を目指してまいります。

門田副議長

議長のよきパートナー、サポート役として、共に頑張るつもりです。市民の皆様にとって、議会をより身近に感じていただき、さらに開かれた議会を目指したいです。

○新庁舎について？

若松議長

住民サービスの向上と利便性を追求して建設された庁舎です。建物のハードと人のハートを一体化した、さらなる住民サービスの提供を望んでいます。特に、5階には議場がありますので、ぜひ議会の傍聴にお越しください。

門田副議長

市民の皆様には喜ばれ、明るい庁舎であってほしいです。そのためには、どこにも負けない(※)ワ

市長と市議会の関係

議員で構成する市議会は、市民生活の諸問題の解決策を考え、市長から提出された条例や予算等が適正かどうかを審議・議決し、また、市長の行う行政全般をチェックします。この市議会と市長が、市政の大きな二つの柱です。

市長と市議会は、独立・対等の立場にあり、両者はちょうど車の両輪のように、市政の発展のために活動しています。

議長の役割

議長は、市議会を代表して、議員の中から選挙で選ばれます。主な仕事としては、議会の秩序を保ち、議事の整理をしたり、議会の事務を処理します。また、議会を代表して、いろいろな会議に出席したり、他の機関と協議をします。副議長は、その議長に事故があるときや欠けたときに、議長に代わって職務を行います。

議会運営委員会

議会運営に関する事項、会議規則、委員会に関する条例等を審議します。

委員長 田中 裕昭
副委員長 武智 実
委員 日野 猛仁
北橋 豊作
佐川 秋夫
久保 榮
水田 恒二

総務委員会

総務・財務・水道・防災などを審議します。

委員長 佐川 秋夫
副委員長 高田 浩司
委員 森川 建司
向井 哲哉
田中 裕昭
武智 実
若松 孝行

ンストップサービス」を
目指し、市民満足度ナン
バーワンの実現を望んで
います。

○新しい図書館・文化ホ
ール等への思いは？

若松議長

魅力あふれる、市民の
学習の場、交流の場、生
きがいのある場であり、文
化や情報の発信拠点とし
て、気軽に立ち寄れる利
便性、快適性、機能性を
持ち合わせた総合的な施
設となることを望んでい
ます。

門田副議長

伊予市の新しい顔とな
り、多くの市民の皆さん
に利用していただきたい
です。伊予市らしさを奏
でる文化の発信地、そし
て、図書館は、知的教育
活動の大事なインフラと
なるよう、しっかりと見
守っていききたいです。

○市民の皆様にもメッセー
ジを！

若松議長

「市民が主役のまちづ
くり」を目指して、議会
と行政が両輪となり「伊
予市らしさ」を大切にし
ていきたいと思っています。
伊予市の花である菜の花
は、一本一本は小さいけ
れど、野原一面に咲き誇
る光景は圧巻です。黄金
色のじゅうたんのように
市民全員が輝けるまちを
目指していきましょう。

門田副議長

一人一人の声が反映で
きる、目配り・気配り・
思いやりのある議会を目

指します。笑顔があふれ、
住んで良かったと思っ
ただけの伊予市のため
に、さまざまな行政課題
に取り組み、「市民ファ
ーストの伊予市議会」の
実現へ取り組みます。

(※)ワンストップサービ
スとは？

一度の手続で、必要なこと
すべてを完了できるように
設計されたサービスのこと。
行政窓口で主に使われる。

(聞き手：川口和代委
員・向井哲哉委員)

副議長 門田裕一



■プロフィール
現住所：伊予市八倉
特 技：映像編集
趣 味：映画鑑賞
座右の銘：あきらめない限り
夢は必ず実現する

※特別委員会については15ページに
関連記事を掲載しております

本 会 議

特別委員会

議会広報調査特別委員会

地方創生特別委員会

図書館・文化ホール等建設特別委員会

議会改革特別委員会

常任委員会

産業建設委員会

住宅・建設・ごみ・下水道
農林水産・商工観光などを
審議します。

委員	副委員長	委員長
水田 恒二	大野 鎮司	日野 猛仁
田中 千博	吉久 俊介	
正岡 千博		

民生文教委員会

福祉・医療・介護・子育
て・健康増進・教育などを
審議します。

委員	副委員長	委員長
久保 榮	川口 和代	北橋 豊作
谷本 勝俊	門田 裕一	
		平岡 清樹

防災備蓄倉庫

用地取得費に

倉庫の床面積は
58.93 m²

2,000万円計上

総務委員会

老朽（水道）管 更新事業

問

老朽管と判断する目安の期間は。市内全延長において更新をどのようにしているのか。

答 水道課

基本的には水道管の耐用年数は40年と地方公営企業法で定められ、一つの目安にしている。また、水道管の更新は多額の費用を要するために、道路改良や公共下水道などの事業と同時に布設替えを行ったりするが、漏水事故の多発や配水管が水量に見合わなくなった場合などには、単独で年数にかかわらず更新している。耐震化事業については、今後、国や県との協議をしながら、耐震化の補助事業等の要望を行い、対応していきたい。

防災備蓄倉庫

問

今後、収納する備蓄品が増加した場合に収納は可能なのか。また、津波が発生した際の対策は。

答 危機管理課

現在、各避難所にある防災倉庫等も効果的に活用しながら、今回建設する防災備蓄倉庫は増加する備蓄品についても収納できるスペースを確保している。また、津波対策として、当該地の津波の浸水想定は、約30cm以上1m未満となっており、それに対応できるよう検討したい。



防災備蓄倉庫建設予定場所
(市役所前 旧一六本舗跡地)

民生文教委員会

放課後児童クラブに 対する備品補助

問

どのような経緯で購入に至ったのか。また、保護者や子ども目線による購入となっているのか。

答 子育て支援課

備品の購入については、まず、事業者から提案があり、その後、市で補助対象にふさわしい備品かどうかを厳しく精査し、調整を図っており、当初より、かなり減額された予算計上となっている。

今年度から新たに開設する児童クラブは2つあり、1つ目の「スポキッズ児童クラブ」は、体育教室などスポーツを中心に特化したクラブで、2つ目の「伊予くじら児童クラブ」は、ピアノ等、音楽などの習い事を中心に特化したクラブであり、

両クラブともに、これまで市内になかった特色を持ったクラブである。どちらのクラブにおいても事業者がまず、保護者と子どもの安全や利用形態を第一に考えて提案してきており、最終的に保護者自身が、そのクラブの特色等を加味して入園させるので、そのような面から勘案すると、目線という点においては、整合性は取れている。

港南中学校駐輪場改築・外構工事

問

今回、新たに整備する駐輪場の工法とランニングコースの詳細は。

答 学校教育課

駐輪場については、旧給食室の跡地に改築するもので、駐輪部分は土間コンクリート打ちで、屋根部分にポリカーボネート（プラスチックの

一種）1枚ものを使用する予定である。ランニングコースについては、幅2・4mで、テニスコート横の直線97m部分には、ゴムチップ舗装、グラウンドの150m部分には、真砂土舗装で整備する予定である。

産業建設委員会

大谷池取水施設電動化工事

問

停電に備え手動も残すのか。

答 農林水産課

手動開閉では時間と労力を要するうえに緊急時の対応が難しく、高齢化が進む管理者の大きな負担となっていることから6門ある斜樋のうち4門を電動化するものであるが、停電等に備え手動でも動作できるように設計する。

市道築港吾川線道路改良工事

問

現状と将来計画は。また、断面については想定外の流量に対し十分であるのか。

答 土木管理課

現状と将来計画はとの質疑に対し、今年度予算計上している工事は国道56号から国道378号までの286mの区間のうち、ボックスカルバートに改良していない箇所敷設するもので、30年度にはJＲが軌道を挟んで15mの区間の改修を行い、31年度には全体が完成の見込みである。
梢川は天井川であり、分水より下流においては、雨水の流入は路面排水程度である。計画断面は計算上10年確率、いわゆる過去10年間のうち一番多い雨量を流下させることのできる断面とすること

となっており、十分な余裕をみている。

五色浜公園25mプール改修工事

問

工事時期と改修内容は。また、改修後も海水とするのか。

答 都市住宅課

夏季営業終了後に工事を予定しており、その際に漏水箇所の修繕をしてから塗装等の改修を実施し、ポンプでの海水汲み上げは継続する。



漏水の修繕と塗装の改修をする五色浜公園の25mプール

議案等議員別表決結果一覧表

【○:賛成 ×:反対 ※若松孝行議長は採決に入っていません】

平成 29 年第3回（5月）伊予市議会臨時会
〔会期：5月1日 1日〕

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決日
氏名	森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	高田浩司	大野鎮司	門田裕一	日野猛仁	北橋豊作	佐川秋夫	谷本勝俊	正岡千博	武智実	久保榮	田中弘	若松孝行	水田恒二		
議決結果	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	5月1日

平成 29 年第4回（6月）伊予市議会定例会
〔会期：6月5日～6月23日 19日間〕

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決日
氏名	森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	高田浩司	大野鎮司	門田裕一	日野猛仁	北橋豊作	佐川秋夫	谷本勝俊	正岡千博	武智実	久保榮	田中弘	若松孝行	水田恒二		
議決結果	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	
番号	件名	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		6月23日
議案第68号	平成29年度伊予市一般会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	
陳情第2号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		

※賛否の分かれた案件のみ記載しています。そのほかの案件については全会一致で可決されました。

一般質問

7人が市政を問う

6月定例会では、7人の議員が26件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。ここでは、全質問項目（下表）と質問した議員ごとに2問の質問を要約してお知らせします。なお、全文記録（議事録）は9月上旬に市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムに掲載しますのでご覧ください。

白 抜きの番号は掲載している質問です。

日野 猛仁 議員7P

- 1 市長公約に対する政治姿勢を問う
- 2 「動けば、変わる」・ますます、いよし。の施策を問う
- 3 財政状況の見通しを問う
- 4 えひめ国体開催に向けた準備状況を問う

向井 哲哉 議員8P

- 1 本市の森林管理の現状について
- 2 イノシシ対策について

大野 鎮司 議員9P

- 1 鳥獣害被害対策について
- 2 防災意識向上について（パート2）
- 3 人口減対策、移住・定住促進について

川口 和代 議員10P

- 1 市民に、職員に愛される市役所に
- 2 新しい図書館・文化ホール等の管理運営について
- 3 本市の公共施設への案内標示に工夫を

平岡 清樹 議員11P

- 1 小・中学校のパソコン使用料とすべての見直しについて
- 2 「ひめボス宣言」と本市のワーク・ライフ・バランス

森川 建司 議員12P

- 1 大谷川の集中豪雨時の対策について
- 2 耕作放棄地の管理、対策について
- 3 子育て支援の充実について
- 4 コミュニティバスの運行について
- 5 第17回障害者スポーツ大会(バレーボール)のおもてなしについて
- 6 伊予市出身の特定失踪者「大政由美さん」を救い出す取り組みについて
- 7 弾道ミサイルから市民を守るために
- 8 南海トラフ地震から市民を守るために

水田 恒二 議員13P

- 1 市役所新庁舎運用開始と周辺内外の整備について（伊予市関連施設を含む）
- 2 下灘駅について再度問う
- 3 B類定期予防接種の自己負担を問う
- 4 JR伊予市駅のバリアフリー化を願う

※通告順（発言順）に掲載いたします。

財政状況の見通しを

日野 猛仁 議員



問

財政調整基金（市の積立金）の見通しと今回3億3500万円の繰り入れをした理由は。

答

基金に頼らない財政運営に努めたい。

28年度末の財政調整基金現在額は、17億6041万3330円であり、今回6月補正にて3億3500万円を取り崩すこととしているため、このまま余剰金が出ずに年度末の決算期を迎えると、残高は14億2541万3330円となる見通しである。これを昨年度同時期の基金残高14億7013万1330円と比較すると、その差は4471万8000円であり、ほぼ同額で推移している。しかしながら昨年度は、6月補正以降、財源内訳の変更により、基金の取り崩しや戻し入れを繰り返して行い、

最終的に取り崩し額が1億5000万円となった。

今年度の当初予算編成は、骨格予算編成であったにもかかわらず、留保するべき財源が手元に全くない状態で、今回の補正予算編成時には、ただちに見込める財源がなかったことから、3億3500万円の基金を繰り入れざるを得ない結果となった。

基金の適正な金額については、明文化された基準はないものの、一般的には標準財政規模に対して、財政調整基金と減債基金を足し合わせた額の15%程度が適正とされており、本市としては、14億円程度がその値かと考えている。このまま基金を取り崩して財源補填をする財政運営を続けていくと、数年後には底をつく結果になることは自明で、また、収支が3年以上連続して赤字となり、

基金を取り崩すような状態を続けていると、放漫財政の危険性があると判断され、上部機関からの指導が入ることになる。したがって、今後は、当初から通年の必要額を把握し、歳入に見合った歳出となるよう事業の取捨選択を行い、基金に頼らない財政運営に努めたい。



予算書・決算書

「動けば、変わる」・ますます、いよし。の施策を問う

問

参加協働推進の観点から、使いやすい助成制度への見直しを行い、提案型助成制度等の充実を図っては。

答

補助金のあり方全般について検証する。

提案型補助金については、平成27年度に10周年記念事業の一環として市民協働事業を実施している。本事業では、市内の団体、企業等22団体から、計37件の応募があり、このうち6事業を採択した。1件当たり40万円を限度とする補助であったが、それぞれ特色のある事業となっており、環境、健康、地域づくりなどをテーマとして、多くの方々に参加いただき、10周年に相応しい取り組みであったと考えている。

制度創設には、財政面の課題もクリアする必要があるので、ただちに創設に結びつくとは考えていない。今後は、現在の魅力ある地域づくり事業の全面的な見直しも含め、補助金のあり方全般についてもさらに検証し、より効果的な事業実施に向けて取り組みたい。

森林管理の現状は？

向井 哲哉 議員



問

本市の森林において、間伐の現状と見通しは。

答

木材の関心を高める取り組みを実施したい。

本市の全森林面積の約6割を占めるスギ・ヒノキを主体とした人工林のうち、約8割が適切な間伐などが必要な要間伐森林と認識している。

総合計画において、その成果指標を年間260ヘクタールと定めているが、これは近隣の3市2町を包括し、県が作成した松山地区森林・林業プランに基づく目標値であり、「達成するためには、現在の整備水準では不足しているため、積極的な対策を講じる必要がある」と明記されている。そのため、本市では森林整備計画を作成し、県や森林組合との密な連携のもと推進してきたが、小規模森林所有者が多数を占め、高齢化の進展も著し

問

いことなどから、目標達成に不可欠な合意形成の過程で不測の時間を要し、平成27年度は160ヘクタール余に留まっている。今後は、継続事業の早期実施と並行して、森林の持つ公益的で多面的な機能やぬくもり効果を広く啓発するなど、より多方面から木材への関心を高める取り組みを実施したい。

林業の担い手育成について具体的な方策は。

答

引き続き支援体制整備を促進する。

林業就業者については、森林整備や木材供給の担い手として、森林組合やプロシーズなど林業事業体の活動における求人が増大しており、平成27年度は、双方で4名の新規採用者があった。

また、間伐などの森林施業を安全で効率的に行える現場技能者を育成す

るため、プロシーズでは、平成16年度から国の緑の雇用担い手対策事業を活用した3年間の体系的研修に参画しており、現在、受講者4名が在職している。

県の普及事業や県森連主催の実践教育による人材育成と、高性能林業機械作業システムの導入などによる高効率の作業実施により、就労環境や雇用条件の改善を図るなど、引き続き支援体制整備を促進し、若者層を中心とした林業就業者の確保・育成に努めたい。

イノシシ対策

問

近年、市街地等でのイノシシの出没事例が増加している。遭遇した場合の対処方法について啓発を行っている。

答

絶対という妙案はないが、地道に啓発を続けたい。



箱わなで捕獲したイノシシ

イノシシに遭遇した時の対応方法については、これといった妙案は誰にも見出せていないのが現状である。ちなみに、昨年4月の市の広報紙に①静かにその場を離れる②威嚇したり追い払ったりしない③イノシシの子どもに近づかないと啓発記事を掲載した。また、県や農業振興センターのホームページにおいても同趣旨の記事が掲載されている。いずれにしても絶対というものではないと考えるが、今後も地道に啓発を続けたい。

人口減対策

移住・定住促進を！

大野 鎮司 議員



問

移住・定住促進の一環として、松山市興居島にある「ハイムインゼルごしま」のような移住施設を本市でも取り入れては。

答

施設整備に向け研究・検討を重ねたい。

本市においても、急速に進行する人口減少・人口流出は、地域の存続に関わる極めて重要な問題として捉えている。特に移住・定住の促進は、効果的かつ即効性のある方策と考えており、各地域の実情に応じた施策展開を図っている。

27年度に策定した「移住・定住推進アクションプラン」に基づき、移住プロモーション映像の作成、大都市圏で開催される移住フェアへの出展など、積極的な情報発信に努めるとともに、空き家調査や移住体験ツアーの実施、移住者住宅改修

補助制度の創設など、移住に関する支援メニューも充実させてきた。さらに、今年度、移住希望者に迅速かつ適切に対応するため、去る6月1日に伊予市移住サポートセンター「いよりん」を開設したところであり、今後は、本センターが核となり、移住支援団体、地域住民、行政が一体となった移住・定住施策が推進できるものと期待している。

ご提案の農園付きお試し移住施設の整備については、本活動を通じて地域の風土や魅力、生活環境、利便性などを体験することが可能となる点から有効な手法の一つと考えている。今回ご紹介のあった「ハイムインゼルごしま」のほかにも、廃校となった学校施設、教員住宅などを移住体験施設に改修する事例が増えてきているのも事実である。整備費用や運営方

法など解決すべき課題も少なくないが、社会情勢や移住希望者のニーズを的確に捉えながら施設整備に向け、研究・検討を重ねていきたい。

「住んでみたい、住み続けたいまち、伊予市」の実現のため、さらなるご理解とご支援をお願いしたい。



『ハイムインゼルごしま』
居住棟外観:玄関側(松山市)

防災意識の向上 (パート2)

問

昨年9月に、ごみ収集カレンダーに防災情報の掲載を提案したが、さら

に防災無線電話応答ダイヤルも掲載しては。

答

電話応答ダイヤルの掲載も合わせて実施する。

ご提案をいただいていた、ごみ収集カレンダーへの防災情報の掲載については、平成30年度版カレンダーで実現する運びとなっている。また、電話応答サービス利用の啓発の一策として、ごみ収集カレンダーに回答サービスの電話番号を掲載することも効果的と考えるので、併せて実施することとする。

なお、今後も引き続き、総合防災マップなどの冊子や広報紙、市公式ウェブサイト、メール、SNS、または防災行政無線など多様な手段を、それぞれの特性を生かしながら活用して、市民の防災意識の向上に向けて、防災情報の効率的かつ効果的な発信に努める。

市民に、職員に

愛される市役所に！

川口 和代
議員



問

新庁舎になったの窓口サービスの向上や職員の意識改革への取り組みは。

答

より市民目線に立ったサービスに努めたい。

新庁舎では、新たな試みとして「総合窓口」を設置し、より市民目線に立ったサービスの提供に努めている。ご指摘のように、新庁舎の構造上、職員と市民との隔たりが大きくなったと感じられるお客様もいらっしゃるが、旧庁舎にはなかった個別窓口へお客様をご案内することで、円滑な対応ができると考えている。また、庁舎機能の充実のみではなく、職員の意識改革と資質の向上がより重要であると考えているので、かねてからご指摘の多かった「あいさつ」がしっかりとできる組織づくりに努めたい。

問

案内窓口が無人にならない対策を。また、見学ツアーは考えていないのか。

答

ツアアの申し出があればご案内したい。

窓口が混雑するときには、市民福祉部中心に職員が窓口の外に出て対応しているが、今後、そういうことのないように検証したい。

市民の新庁舎見学ツアー等の開催については、この新庁舎は市民の皆様のものであるので、申し出があればご案内したい。

問

職員が働きやすい快適な職場になっているのか。

答

ハード面では非常に快適な環境である。

旧市庁舎は、約60年経過した建物であり、冬は寒く、夏は暑いうえ、合併に伴う職員の増加にも対応できておらず、執務スペースが狭いといった劣悪な環境であった。新庁舎では、これらの問題が全て解決され、ハード面では職員において非常に快適な環境であると信じている。ソフト面では、ワーク・ライフ・バランスの推進による働き方改革を進め、長時間労働の改善や休暇取得しやすい組織づくりに努めたい。

問

新しい図書館・文化ホール等の管理運営

管理運営実施計画策定とその具体化の状況は。

また、複合施設の準備課（準備室）の設置は考えていないのか。

答

現在、内容を吟味中である。

管理運営実施計画は、事業計画や市民参画計画など、新しい施設の管理運営に係る具体的な方針を示すもので、27・28年度の2カ年にわたり、検討委員会と協議を重ね、29年3月に実施計画案を策定し、現在、内容を吟味中である。今後、より具体的な議論を進めるため、庁内の横断的な連携を図るとともに、専門的な知識や豊富な経験を有する識者で構成する管理運営アドバイザー会議を設置し、実施計画に基づく官民における自主事業や協働事業の実践計画、施設の現実的な管理運営について意見、助言をいただきながら、実施計画を実践につなげたい。準備室設置については、現在、その計画はない。

小・中学校のパソコン使用料と すべての見直しを！

平岡
清樹
議員



問

21年度からリースを開始しているが、どの企業が落札してきたのか。また約3億円というパソコン使用料(727台)は高額すぎないか。

答

導入経費は適正価格である。

契約した企業は、すべて四国通建株式会社である。ワープロ、表計算ソフト、プレゼンソフトが標準インストールされたパソコン1台当たりの購入価格は10万円から20万円程度であり、民間企業では、この上に経理ソフト等を付けて購入すれば用を足すことができるが、学校のパソコン教室に導入する機器には、文科省が示す教育カリキュラム、学習要領に即した授業に必要なソフトやシステム環境を含むことから、その分の経費が追加される。導入に必要な機器類の仕様を示した上で競争

問

入札を実施しており、導入経費は適正な価格である。ハードは民間にも匹敵する価格帯で導入されており、ソフトには教育上必要なものを含むと考えてほしい。

答

職員一丸となって取り組む所存である。

財政運営上の無駄を削減する気持ちがあるのか。
本市の財政状況に鑑み、事業の選択と集中、事務の効率化・合理化を図り、さまざまな無駄を省くことなど、本市の身の丈に合った財政規模に縮減するため、大胆な行財政改革に職員一丸となって取り組み所存である。

問

「ひめボス宣言」と
本市のワーク・ライフ・バランス

知事と市町長が「ひめボス合同宣言」を行った

答

特定事業主行動計画に沿って進めたい。

本市では28年度から5年間を計画期間とした特定事業主行動計画を策定しており、具体的にはこれらに沿って進めたい。市内全域での取り組みとしては、昨年度見直しを行った第2次男女共同参画基本計画の基本目標4で「家庭生活と仕事、地域活動が両立する環境整備」としてワーク・ライフ・バランスの推進による働き方の見直しを掲げている。これから実施計画の策定作業に入るので、現時点では、明確な数値目標をお示しできないが、市内事業者との「イクボス合同宣言」も視野に入れ、情報発信、情報共有等連携に努めたい。

問

28年度の時間外勤務手当全額と、4年連続大幅増額に対する今後の具体

的な対策は。

答

時間外勤務手当は約7940万円である。

28年度における職員の時間外勤務手当の額は、約7940万円である。この点については、単に経費の増加という観点だけではなく、職員の健康面からも非常に問題があると認識している。
今後は、業務量に応じた適正な人員配置に加え、事業の見直しを行うなど、より一層の効率化を図るとともに、削減目標を全庁的に共有し、組織一体となって取り組むことで、時間外の削減に取り組みたい。

変える、変わる。愛媛ワークスタイル



弾道ミサイルから市民を守るために！

森川 建司 議員



問

市民を守るための弾道ミサイル対処計画はどうなっているのか。

答

避難実施要領を定めている。

国民の保護のための措置、いわゆる国民保護措置の実施に当たり、市は、国や県、指定公共機関や指定地方公共機関と相互に連携しながら、警報や避難指示の伝達、避難住民の誘導または消防、応急措置の業務を行うことになる。そして、住民避難に関して、弾道ミサイル攻撃やゲリラ・特殊部隊による攻撃など武力攻撃事態の類型に合わせて避難誘導の方法など避難実施要領を定めている。

問

Jアラート警報音の市民への周知方法は。

答

時機を得られたら実施を図りたい。

国民保護関係の情報を

流す際の有事サイレンの放送は、本市ではまだ実施したことがない。市民の不安をいたずらにあお

つてしまう結果になることを危惧しているためである。有事に備えてサイレン音を市民に周知しておくことの重要性は認識しているので、時機を得られたら、実施方法や市民への周知など検討の上、市民不安への配慮の下での実施を図りたい。

問

県や近隣市町の弾道ミサイル対処訓練の実施状況と本市の訓練予定は。

答

これまで県内での実施事例はなく、予定も定かではない。また、本市単独の訓練も予定していないが、今後、国や県との共同訓練の実施も考慮したい。国の専権事項には、「治安」「外交」「防衛」「教育の中身」の4つが

ある。防衛は国家が担う役割であるので、ミサイルが飛翔することのないよう不断の努力に期待している。

ある。防衛は国家が担う役割であるので、ミサイルが飛翔することのないよう不断の努力に期待している。

コミュニティバスの運行

問

路線決定の経緯と今後の路線変更の可能性は。

答

警察・四国運輸局等との協議調整を行う。

路線については、まず、市内の施設利用頻度を把握するための住民アンケートを実施し、その結果を踏まえて、当時運行していた市の福祉バス、伊予鉄南予バスの運行路線を参考に路線（案）を作成した。利用者となる市民との意見交換会を小学校区ごとに2度開催し、いただいた意見や要望の中で可能と判断したもののについて修正し、26年11月に伊予市地域公共交通会議に諮って実証運行計画を決定し、四国運輸局

の許可を得て現路線による運行を行っている。

今後の路線変更については、ほかにも運行路線の変更要望があるので、これらを整理し、29年7月まで2年余の実証運行データを取りまとめた上で、利用状況の分析、アンケート調査、住民説明会を経て、本格運行に向けての変更ルート（案）を作成し、警察・四国運輸局等との協議調整を行いたい。いずれにしても、市民が利用しやすい運行計画となるよう見直しに取り組みたい。



現在運行中のコミュニティバス『あいくる』28年度にリニューアル

新庁舎運用開始と

周辺内外の整備を！

水田 恒一 議員



問

新庁舎内の部屋などの案内表示をわかりやすく追加すべきでは。

また、点字ブロックの設置は当事者と相談すべきでは。

答

案内表示は一番効果的なもので対応する。

案内表示については、ご提案の壁面と立て看板による案内を、また、1階から5階の各課案内の手法は、何案か試作したもので検証を行い、一番効果的なもので対応したい。

点字ブロックについては、コミュニティバスの乗降場所と交差点への敷地内通路を2期工事において施工予定であり、全体完成までには、10カ月程度必要となる。ご指摘のように外構工事と同時施工のほうがむしろ混乱を招かなかったものと反省している。

問

国体を間近に控え、施設の受動喫煙防止対策についての本市の方針は。

答

喫煙場所については最大限配慮して計画する。

本市においても、受動喫煙防止対策を講じる必要性について十分認識している。本年9月末より開催される国体の本市競技会場については、現在、会場設営業者とレイアウト等を協議中であり、喫煙場所とは非喫煙者に最大限配慮した計画としている。

他の施設についても県や他市の動向を注視し、適正に対策したい。

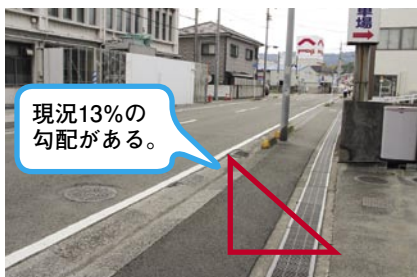
問

周辺歩道の傾斜がきつく歩きづらい。再整備をすべきでは。

答

隣接地所有者の理解と協力が必要である。

歩道整備の具体的な方法は、現況の13%の横断



本庁舎南側立体駐車場横の勾配がきつい歩道

勾配を2%以下に改良し、側溝の高さを10cm程度嵩上げすることで歩道の平坦性の確保、側溝のがたつき解消に努めたい。この改良措置を講ずることで、歩道幅が1・5m確保でき、バリアフリー新法に指針として定められている「車椅子が回転でき、車椅子使用者と人がすれ違える幅」を達成することができると。

ただ、これらを実現するには、公道と民地の取り付け等について、隣接地所有者の歩道断面改良への理解と協力が前提条件となるため、協力が、依頼を進めたい。

下灘駅周辺対策

問

近年増加している下灘駅来訪者の駐車場について、近隣住民に迷惑をかけるような対策すべきでは。

答

要望をJR四国に再度持ちかけたい。

駅舎横の駐車場については、24年から用地所有者のJR四国に舗装を要望した経緯もあったが、当時は難しいとの回答であった。ただ情勢も大きく変化していることから、地元の実情や要望を前面に押し出して、JR四国に再度協議を持ちかけてみたい。

下灘駅は、付近の景観とマッチした市を代表する観光地であるため、視覚的な誘導を優先するあまり一体感のある景観を損ねることにならないよう施設整備に努めたい。

平成28年度

政務活動費を公開します!

平成28年度における議員別の政務活動費の支出内訳を公開します。

※市ホームページ(議会)にも公開しています。

[平成29年4月現在]

市	交付対象	交付額(年額)
松山市	議員	1,224,000円
東温市	議員	180,000円
今治市	会派/議員	360,000円
宇和島市	会派/議員	120,000円
新居浜市	会派	216,000円
西条市	会派/議員	180,000円
西予市	会派/議員	120,000円
伊予市	議員	120,000円

八幡浜市・大洲市・四国中央市は、交付なし。

○県内11市の交付額は?

○政務活動費とは?
議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市議会議員には、1人当たり年額12万円を交付しています。政務活動費は、主に行政視察や研修への参加、資料作成等として使用されます。
※本市では、平成26年度に議会改革特別委員会において、「政務活動費運用の手引き」を作成し、これに基づいて交付・公開等の運用を行っています。

平成28年度 政務活動費収支一覧表

議席 番号	氏 名	交付額 A	執行額 B	差引額 A-B	戻入額※1	支出科目									
						調査研究費	研修費	広報費	広聴費	審議・関係活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
1	長尾 要	40,000	24,300	15,700	15,700								24,300		
2	向井正次郎	40,000	40,000	0	0	40,000									
3	向井 哲哉	40,000	0	40,000	40,000										
4	平岡 清樹	40,000	158,070	△ 118,070	0		158,070								
5	大野 鎮司	120,000	137,870	△ 17,870	0	58,410	60,000					17,060	2,400		
6	高田 浩司	120,000	121,361	△ 1,361	0	70,430						14,536	36,395		
7	北橋 豊作	120,000	122,987	△ 2,987	0	51,220							71,767		
8	日野 猛仁	120,000	119,858	142	142	9,000	80,000					20,758	10,100		
9	門田 裕一	120,000	147,620	△ 27,620	0	84,470	6,439					37,511	19,200		
10	佐川 秋夫	120,000	152,634	△ 32,634	0	43,934	108,700								
11	正岡 千博	120,000	149,347	△ 29,347	0	39,220	80,000					27,751	2,376		
12	谷本 勝俊	120,000	127,450	△ 7,450	0	19,300	52,000						56,150		
13	田中 裕昭	120,000	120,008	△ 8	0	39,220						22,804	57,984		
14	岡田 博助	120,000	120,535	△ 535	0							2,199	118,336		
15	田中 弘	120,000	147,210	△ 27,210	0	29,990	106,600					10,620			
16	武智 実	120,000	0	120,000	120,000										
17	久保 榮	120,000	139,300	△ 19,300	0	50,500	86,400						2,400		
18	日野 健	120,000	120,144	△ 144	0	32,300	34,400					14,092	39,352		
19	若松 孝行	120,000	7,179	112,821	112,821							7,179			
20	水田 恒二	120,000	453,248	△ 333,248	0		451,248	2,000							
※2	三好 正	60,000	0	60,000	60,000										
	合計 21名	2,100,000			348,663	0	567,994	1,223,857	2,000	0	0	174,510	440,760	0	0

※1 交付額よりも支出額の多い議員は、戻入額を0と表記

※2 三好正議員はH28.9.15死去により、前期分のみ交付

伊予市議会基本条例 を制定しました！

特別委員会報告

平成29年5月1日
臨時会で4つの特
別委員会を設置し
ました！

議会改革特別委員会

委員長／田中 弘 副委員長／大野鎮司

議会改革についての調査・検討を開始！

議長以外の全議員（18人）で構成する議会改革特別委員会を設置、6月2日に第1回目の委員会を開催し、正副委員長の互選をしました。

前期の議会改革特別委員会から重要な継続事件となっておりました「伊予市議会基本条例」を6月定例会最終日に議員発議で上程し、原案可決されました。この条例は、議会の公平性・透明性・独自性を確保することにより、市民に開かれた議会及び市民参加を推進する議会を目指す最高模範となるものです。

今後は、議会改革における調査項目を決定し、随時、調査・検討を進めて参ります。

図書館・文化ホール等建設特別委員会

委員長／谷本勝俊 副委員長／高田浩司

図書館・文化ホール等の建設についての調査・研究を開始！

議長以外の全議員（18人）で構成する図書館・文化ホール等建設特別委員会を設置、6月2日に第1回目の委員会を開催し、正副委員長の互選をしました。今後は、図書館・文化ホール等の建設に関する調査・研究を進めて参ります。

地方創生特別委員会

委員長／高田浩司 副委員長／大野鎮司

地方創生に関する事項についての調査・研究を開始！

議員9人で構成する地方創生特別委員会を設置、6月2日に第1回目の委員会を開催し、正副委員長の互選をしました。今後は、地方創生に関する事項について、調査・研究を進めて参ります。

〔委員〕 森川建司・吉久俊介・川口和代・向井哲哉・平岡清樹・高田浩司・大野鎮司・日野猛仁・谷本勝俊

議会広報調査特別委員会

委員長／大野鎮司 副委員長／平岡清樹

「議会だより」の編集を行います！

議員7人で構成する議会広報調査特別委員会を設置、6月2日に第1回目の委員会を開催し、正副委員長の互選をしました。

今後は、定例会ごとに年4回の議会だよりの編集を行います。

〔委員〕 森川建司・吉久俊介・川口和代・向井哲哉
平岡清樹・大野鎮司・門田裕一



「議会だより」を編集する委員会の様子。発行に至るまで、7人の委員が3回の委員会を開催します。

新庁舎5階 傍聴席案内図（一部抜粋）

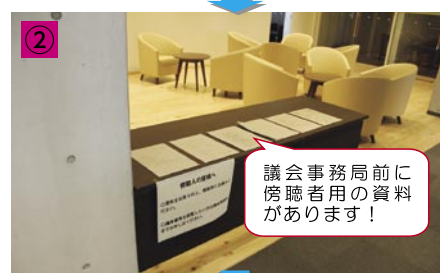


①

エレベーター（中央階段）から出て右へ進んでください！

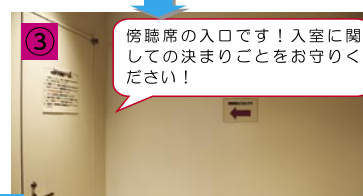
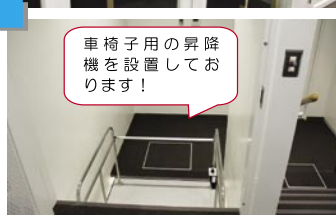
エレベーター

中央階段



4

親子傍聴席も新たに設置しました！



傍聴席に入ったら、まず傍聴人名簿に住所・氏名を必ず記入してください！

委員 門田裕一	委員 向井哲哉	委員 川口和代	委員 吉久俊介	委員 森川建司	副委員長 平岡清樹	委員長 大野鎮司	議会議長 報告調查特別委員會
------------	------------	------------	------------	------------	--------------	-------------	-------------------

文責大野鎮司

ます。

議会だよりの編集委員も
今号から一新し、今後もさ
らに、市民目線に立つて皆
様に手に取って見ていただ
ける議会だよりを目指し、
委員一同力を合わせて頑
張って参ります。

今年4月より、第4期の新生伊予市議会がスタートし、新メンバーにより、常任委員会をはじめ各特別委員会も設置されました。

また、庁舎も5月から新しくなり、議場はもちろん、傍聴席も旧庁舎と比べ、明るく快適に傍聴できるような空間となりました。

ぜひ、たくさんの市民の皆様、の傍聴をお待ちしております。

編集後記